

第 46 回 三浦半島・大楠山

第 3 支部 オーウエル (株)

浜田敏彦

平成 22 年 4 月 4 日 (日) 曇り

初めましてオーウエルの浜田と申します。

今年の東塗商新年賀詞交歓会の席で大先輩である森商事の森社長より「今度鎌倉で花見をするから来ないか」とのお誘いを受け、今回初めて参加させて頂きました。

小生も会社でのハイキング同好会で色々な場所 (神奈川県三浦半島近辺が多い) へ出かけておりますが、今回も鎌倉とお聞きして自宅から近い事もあり、喜んで参加させて頂く事になりました。

コースは大楠山 (神奈川県三浦半島の最高峰、標高 242m) から衣笠城址を経由し、最後は桜の名所・衣笠山公園 (日本さくら名所 100 選のひとつ) を目指す約 3 時間のコースです。

参加メンバーは、磯部さん、乾さん、森さん、内田さん、森山さん、山本さん、原さんご夫妻、若林さん、小川さん、石倉さん、松下さん、秦さんと小生含めでの 14 名です。

当日 4 月 4 日 (日) はちょうど桜も満開で、花見にはもってこいのタイミングとなりました。天気は曇り、かなり肌寒い中、JR 逗子駅で 9 時に集合しバスにて大楠芦名口まで向かいました。何か小学校の時の遠足を思い出すような雰囲気の中、約 20 分程度で到着、いよいよハイキングのスタートとなりました。バス停近くのスーパー前で餃子の店頭販売があり、早くもここで試食して買っておられる方もおりました。

しばらく歩を進めていくと小さな禅宗のお寺があり、ここで小休止となりました。驚いたのですが、ここで皆さんがもうおにぎり等を食べられ始めました。お聞きすると、いつもこういうスタイルで各自好きな時に勝手に食べるのだとの事。ここで石倉さんが後どれくらい歩くのかとの質問をされ、乾さんよりトータルで 3 時間との返答、石倉さんは案内文書を熟読せず、てっきり 1 時間程度だと思い込んでおられた様子。

比較的緩やかな歩きやすい道を、乾さんを先頭に約 50 分で最初の目的地大楠山に到着しました。通常 1 時間のコースなのでやや早いペースか? この間でも先頭グループと後続グループが 3 つぐらいに分かれておりました。特に年齢と

は関係がない感じでした。

ここには展望台があり、皆さんそこに登って 360 度の展望を楽しまれていました。結構風が強く、鉄製の台が揺れている感じもしました。内田さんも上まで登られ、登った証拠となる写真を撮られていました。

ここで小休止の後、次なる目的地衣笠城址を目指し、進んでいきました。乾さんは学生時代に山岳部だったとの事、さすがに淡々とした歩きで皆さんを率先し、コース熟知でリードして下さいました。健脚ぶりというか、ただ悠然とした感じを漂わせながら。乾さんの方針は厳しい、なぜなら後から来る人は待つけれど、到着したら即出発という方針を貫かれているとの事。いやはや、やはりプロは厳しい。

衣笠城址までの道は、途中ゴルフコース（葉山国際GC）の横を通り、横浜横須賀道路の上を横断する少しアップダウンのある道でした。この間約 90 分程度だったと記憶しています。ところで城址といっても何もありません。

小休止の後ここから、ややきつい階段の多い道を歩き、最終目的地の桜の名所、衣笠山公園に着きました。最後の階段は確かにちょっとしんどかったです。乾さんが、このコースを選択されたのがわかりました。逆から登るとえらいきついコースなのです。既に時間的には 12 時近くになっていたと思いますが、既にこの公園ではたくさんの家族連れがシートを広げ、お弁当を食べていました。

小生もここでやっと弁当が食べられるのかと思いきや、以外や以外、どなたも弁当など取り出す方がおられません。何が出てきたのか、お酒ばかりです。20 年ものの日本酒の古酒を初め、ウイスキー、ブランデー等、ボトルで次々に出てきました。

ここから昼食ではなく、酒盛りが始まったわけです。桜を愛でるというより、酒を愛でるです。持ち物の指示に「マイカップ」とあった理由がこれでよくわかりました。

おつまみには乾き物やシューマイ、チーズ等が振舞われました。磯部さんは乾さん同様山岳部のご出身で、携帯ストーブを取り出し、暖かい紅茶を沸かして頂き、皆さんの冷えた体を温めて下さいました。赤いフランス製グラントラの水筒がかっこよかった。

実を言いますと、小生初参加で要領がわからず、ご案内の文書の準備品に昼食とあったものですから、途中コンビニで弁当を買って持ってきておりました。しかしながら突然の酒盛りのスタートにより、ここで弁当を食べる事はあきらめ、ひたすらお酒を頂く事に専念しました。ここで 30 分程の時間を過した後、ややふらつく足取りでこの公園を後にする事になりました。やはりこの道も緩やかという感じではなく、かなりな下りの階段の数がありました。本当に逆のコースでなくよかったとホッとしました。

30分程度でJR衣笠駅に到着、電車で逗子まで向いました。逗子駅の近くに乾さんご推薦の石原家御用達のケーキ屋さんがあるという事で、皆さんで向かいました。ここの名物はピーチロールとかでお土産に買っておられました。小川さんは有料の手提げ袋まで買われ、相当量購入された感じでした。(小生も購入しましたが、おいしかったです。)

ほろ酔い気分で次は原さんご紹介の無国籍料理屋(早い話が居酒屋さん)に向かい、二次会となりました。勿論、全員参加です。

マグロの剥き身、そら豆、とこぶしといったつまみが最初出されたのですが、覚えているのはそこまでです。後は何が出てきたかあまりよく覚えておりません。ここではビール(キリンラガーの瓶ビール)、日本酒、焼酎と皆さん、お好きなものを召し上がっておられました。初参加の小生には挨拶せよとのご指示を頂き、コメントさせて頂いたのですが、「この集まりは、要は単なるお酒のみの集まりなんですねえ。」という言葉に皆さんご納得しておられた様子でした。

この酒宴でわかった事

- ・秦さんがクラシックのバイオリンを演奏されている事と、ビオラを共演されているフランス人のきれいな女性がいる事。
- ・皆さんの年齢(ちなみに平均年齢は57歳でした)。
- ・インドネシアの山に登る計画がある事。
- ・松下さんの出身が小生と同じ神戸市である事。
- ・最後に、皆さんお酒が強い事。

時間は既に16時ぐらいになっていたと思います。ここから皆さん、銘銘酩酊状態で帰路につかれました。小生は森さんとご一緒させて頂き、京急新逗子駅から帰ったのですが、この後どうなったかは全くわかりません。単なる酒飲みの皆さんの事、帰宅前、途中下車でどこかへ立ち寄られたかどうかは定かではありません。

花見の季節に本当に楽しいお仲間たちとご一緒させて頂けた事に感謝申し上げます。

次回、ハイキングにも是非お誘い下さい。

お酒が入っていたせいで本文中の内容が正しいかどうか自信がありません。どうかご容赦を。

以上